

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

藤田守彦 会長 年度テーマ  
=先人に感謝、今日から、そして明日へ=  
ホップ、ステップ、ジャンプ！！

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 岩田 宏



創立 1995年3月9日  
承認 1995年3月28日  
会長 藤田 守彦  
幹事 田島 陽介

事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第829回 例会No. 13 平成 24年10月4日(木) 晴	
■ ローターソング	「君が代」「奉仕の理想」
■ 出席報告	会員45名中30名出席
■ 出席率	71.43% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	9月20日 95.12%
■ スピーカー	地区米山奨学委員 野村順雄様 米山学友 コンティリ様

## 会長挨拶 藤田守彦

皆さんこんにちは。  
以前ロータリーには1年間で色々な月間がある事を御話した事がありますが、今月は「米山月間」と「職業奉仕月間」となっております。「米山月間」に関連をして、先程も御紹介が有りましたが、地区米山奨学委員会の野村委員さん、そして米山学友のコンティリさんを御迎えをして米山奨学制度の理解を深めたいと思います。  
幸いな事に昨年度まで、スリランカのプリヤンティカさんの支援をしておりましたので馴染み深いとは思いますが、当クラブも過去5名の米山奨学学生の御世話をして参りました。  
韓国の方が2名、中国の方が2名、バングラディッシュの方が1名です。  
米山奨学を終えた方は校友会に入会をされます。自国に戻られて活躍される方や、コンティリさんの様に大学に残ってさらに勉強されるなど様々です。  
また、米山学友はロータリーアンになれる資格も有ります。かといって費用等の問題もあって、当地区は西名古屋分区に費用を抑えた、中部名古屋未来ロータリークラブを設立しました。プリヤンティカさんが自国に帰らず、名古屋にいればロータリーアンになれるという事になります。ロータリークラブの会員さらにはローターアクトのOB、財団奨学を終えた財団学友に資格があります。中部未来名古屋ロータリークラブとは来年2月28日に合同例会も予定しております。ロータリークラブとは様々な活動を通じて縦糸、横糸とがしっかりと織り込まれていると思います。  
それをしっかりと理解すれば、ロータリーへの興味なども深まるかもしれません。

ニコBOX	
地区米山奨学委員 野村順雄様 今日は地区米山から卓話に参りました。	
大塚さん 今日は調子良いので！！	
●本日は「米山月間」に因んでお話を伺います。地区米山奨学委員 野村順雄様、米山学友 コンティリ様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。本日は宜しく願い申し上げます。 藤田会長、西垣、北原、成田、堀江、藤野、柴田孝一、岩田、矢野、川原、若原、松尾、西川、金子、加藤、森田、水野、渡邊、吉田、亀井、植木、永井、和田(敬称略)	
安江さん 当月は「米山月間」です。野村さん、コンティリさんをお招きして卓話をさせていただきます。	
田島幹事 先週のロータリーミーティングは楽しかったです。食事もおいしく、隣のテーブルにはグランパスの監督 ストイコヴィッチさんが奥様、息子、ヘッドコーチ夫妻と座っていました。	
●秋の健康感謝ニコニコ Day 堀江さん以下12名	
本日合計 85,000円	

10月の祝福		
誕生日		結婚記念日
5日	永井さんご夫人	
6日	川原さんご夫人	
10日		後藤徹さん、水野さん
18日	田島さんご夫人	林昌さん、池井戸さん
19日	岡田さんご夫人	
22日	矢野雄嗣さんご夫人	
23日	中村さんご夫人	
27日	石井さんご主人	

## 理事役員会 議事録

日時:平成24年10月4日(木) 12:00~12:25  
場所:名古屋クレストンホテル クラウンルーム  
出席者:藤田守彦、吉田光一、西川 博、長谷川龍伸、磯部 徹、堀江俊通、大岩とよみ、藤野正敏、成田勝彦、水野裕善、田島陽介、加藤久明  
議題:1. 国際奉仕 カンボジア視察の件  
2. 次年度会長エレクト推薦委員会の件  
3. その他

## 卓話

「米山月間に因んで」

地区米山奨学委員 野村順雄



米山学友 コンテリ



### 田中作次 RI 会長メッセージ (ROTARY JAPAN WEB より抜粋)

#### 「職業奉仕を理解した時……」

朋友ロータリアンの皆さん、ロータリアンはみな同じではありません。それぞれのロータリアンがそれぞれの理由でロータリーに入会し、多くの方が「ロータリー・モメント」と呼ばれる体験、すなわちクラブの一会員から、熱意ある真のロータリアンとなった、その瞬間の鮮明な記憶をお持ちだと思います。

#### きっかけはさまざま

私は、これらの物語を聞き、皆さんがどのようなきっかけでロータリーに引きつけられるようになったのかを知るのが好きです。クラブや地区の役員になったこと、奉仕プロジェクト、国際大会など、人によってきっかけはさまざまです。私にとってのそれは、入会して2年ほどたった時に八潮ロータリークラブ(RC)の例会で聞いた、ある卓話でした。

私は八潮RCの創立会員ですが、創立会長だった人に推薦されて入会しました。当時、私はロータリーについて聞いたこともなく、奉仕が何を意味するのかもわかりませんでした。しかし、東京から八潮に移り住んだばかりの頃で知り合いも少なく、友人をつくり、仕事にも役立てば、と思い入会しました。私を推薦してくださった人を非常に尊敬していたことも、理由の一つでした。

しかし正直に申し上げますと、最初の2年間は、私たちは大したことをしませんでした。毎週例会に出席し、昼食を取り、卓話を聞くだけでした。会費を払い、ロータリー財団に寄付もしていましたが、奉仕活動には参加していませんでした。ですから、ロータリーの奉仕というものがあるのかを知らなかったのです。

#### 私を変えた職業奉仕という考え方

そんな状況が一変したのが、例会で、職業奉仕の卓話を聞いた時でした。職業奉仕という考え方は、私にとってまったく新しいものでした。それまでは、人生の目的や仕事をする理由について、あまり考えたことはありませんでした。何より仕事が忙しかったのです。常に会社のこと、そしてそれを大きく、素晴らしい会社にするだけを考え、あらためて仕事の真の目的を考えたことがありませんでした。

職業奉仕という考え方を理解してから、自分の仕事や人生の目的に対する態度が完全に変わりました。仕事をする目的とは、ただお金を稼ぐだけでなく、いかに地域社会に貢献し、地域社会や人々の生活をより良くできるかにあると気づいたのです。これを理解した時、「超私の奉仕」の考え方が理解できました。

それから私の人生は変わり、ロータリーでの奉仕に積極的に参加するようになりました。これが、私のロータリー・モメントです。

#### ハイライトよねやま(151号 WEBより抜粋転載)

##### 1. 寄付金速報＝米山月間へご協力をお願いします＝

9月までの寄付金は前年同期と比べて5.0%増、約1,680万円の増加です。普通寄付金が0.1%増、特別寄付金が12.3%増と好調を維持しており、9月のみの単月寄付額としては過去10年間で2番目に高い金額となりました。とりわけ高額寄付が多くあり、個人寄付として3人から合計400万円、また3法人から300万円と多額のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。

##### 4. 田中作次RI会長が新モンゴル高校を訪問

モンゴルの首都ウランバートルにある新モンゴル高校は、米山学友のジャンチブ・ガルバドラツハさん(1998-99/山形北RC/第3450地区フレールRC会員)が設立した日本式高校です。2000年の開校以来、約1,100人の卒業生の3割超にあたる350人が日本をはじめ世界各国の大学に留学しており、モンゴル屈指の私立学校として高い評価を得ています。9月15日、この新モンゴル高校を各国歴訪中の田中作次国際ロータリー(RI)会長が訪問され、ジャンチブさんや同校生徒らの大歓迎を受けました。同校では多くの生徒が日本語を学んでおり、田中RI会長の日本語でのスピーチに、生徒たちから次々に質問の手が挙がるなど、和やかな交流の機会がもたれました。